春日部南中だより

春日部市立春日部南中学校　令和５年度　第１０号　令和６年２月１日発行

学校教育目標　夢に向かって未来を拓く　～自立・共生・貢献～

2月　夢中になれる場所

校長

「もうやめなさい」と言われてるのにも関わらず、心を奪われて、そのことをやり続けた経験はありませんか？寝る時間も惜しんで本を読んだり、泥だらけになって昆虫を追い続けたり、日が暮れるまで公園で遊んだことはありませんか？

そんな状態を「夢中」といいます。

忙しく、やるべきことが多くなると「夢中」になれることが少なくなっていくように思います。また、子どものころに比べて、年齢を重ねて色々な経験をしていくことで「夢中」になることが少なくなっていくような気もしています。

「好奇心」をくすぐり、「心を奪う」場所は、スマートフォン。

本校の生徒たちと話していると、ふと気が付きます。それは、多くの子どもたちの「好奇心の的」はスマートフォンの中にあることを。動画視聴やＳＮＳ、ゲームや調べもの、友達との会話などに多くの時間を使っています。この現象は『新しいことを広く知りたい』という「拡散的好奇心」が大きく関わっていると言います。

実は、この「拡散的好奇心」があるからこそ、知らなかったことを知ろうとしたり、新しい経験や出会いを求めたりするのだといいます。これは人生を豊かにする一方で、すぐに満足してしまい、次から次に新しいものに興味が惹かれ、際限なく時間を使ってしまう側面があるとも言われています。

私の夢の一つが「学校に子どもたちが夢中になれる場所があること」です。それは授業でもいいですし、休み時間でも、給食でも、放課後や登下校、部活動でもいいです。「気が付いたらチャイムが鳴っている」、「気が付いたら日が暮れている」、そんな場所や瞬間がもっともっと学校にあったらいいなと思っています。この現象は『深く知りたい』という「知的好奇心」や「共感的好奇心」が大きく関わっていると思います。

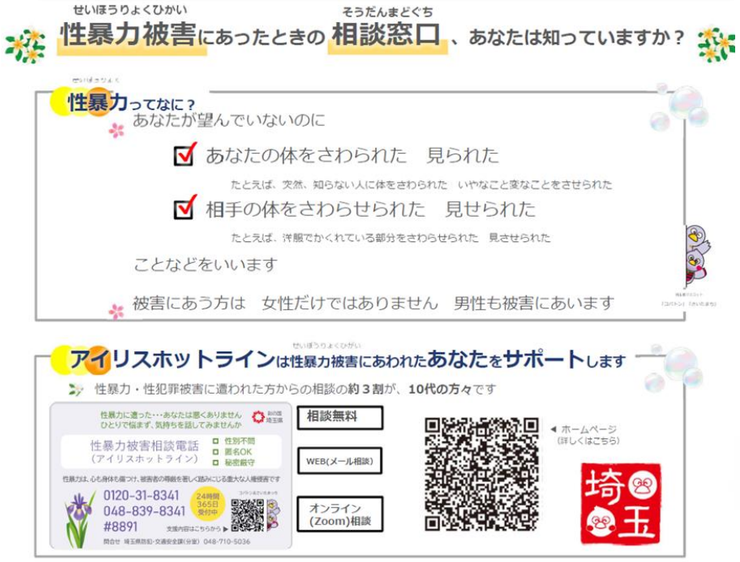
先日、１ 年生のみんなと一緒に志賀高原までスキー教室に行ってきました。そこには「夢中」になっている沢山の「顔」がありました。自分たちで準備をして自分たちで行動し、気が付いたら２泊３日が終わっていたのではないかと思います。大きな怪我も体調不良もトラブルもなく大成功となったのは、子どもたちが「夢中」で取り組んできたからに違いありません。

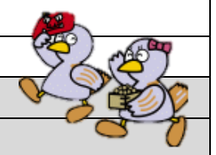
「好奇心」をくすぐり、「心を奪う」場所は、春日部南中学校。

本校を、そんな子どもたちが多く通う学校としたいと思います。色々な角度から様々な好奇心が刺激され、気が付いたら「夢中」になっていた、そんな学校に。

＊創立５周年記念行事　１月９日（火）＊

本校は今年度で、創立５周年を迎えます。それを記念して、１月９日（火）の３学期始業式の後に創立５周年記念行事をおこないました。ＰＴＡと生徒、教職員が団結して、航空写真やバルーンリリース、集合写真撮影等を行い、素晴らしい創立５周年記念行事となりました。



2月の予定

		おもな行事
1	木	
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	⑤保健講話（１年生） ふれあい体験学習（３－１）
6	火	ふれあい体験学習（３－３）
7	水	ふれあい体験学習（３－４）
8	木	ふれあい体験学習（３－２）
9	金	３年期末試験　漢字検定
10	土	
11	日	建国記念の日
12	月	振替休日
13	火	
14	水	第５回学校運営協議会（武里南小）
15	木	専門委員会
16	金	
17	土	
18	日	
19	月	
20	火	
21	水	公立高校学力検査　金曜日課
22	木	公立高校実技検査
23	金	天皇誕生日
24	土	部活動停止期間
25	日	部活動停止期間
26	月	部活動停止期間
27	火	部活動停止期間
28	水	部活動停止期間
29	木	１，２年期末テスト